

摩介工場七百名、昇合令工場六百名あり、尚前
 日來職工ノ教化ニ努力セル本社造船工作部
 一部ノ工場長、主任等が部下職工ニ精業ヲ
 勸説シ責任ヲ以テ工作部ノ半數(二千五百)ヲ
 出勤セシメテ努力シ早業ヨリ在ノ吾代ヲ各職
 工寄場ニ配付シ実行委付スル工場長、主任等
 リ部下ニ傳達シテ等情報ヲ綜合シテ令
 社側ニ於テハ愈々二十五日ヨリ閉場ヲ決シ其ノ
 者各工場ニ揭示(工場ノ秩序恢復セカトナ
 更ニ休業、解雇者ハ入場ヲ禁ルル者附記)シテ
 令令社側ニ於テハ出勤申込者以外ニ尚多數出
 勤ストヤ也、此中ノ豫測ニ居レルモ、硬派職工ノ
 姑息の略中、飛躍甚クシク内心精業ヲ希望シ

暴行
 八人
 標目

居レルモ表面之レヲ畏怖シ或ハ出勤者若クハ
 勤ナクニアラサト觀測セラル是等ノ善良職工
 ニ對シ協働誘惑暴行脅迫等ノ行爲ニ出
 ル者ニ對シテハ、假借ナク制肘ヲ加ヘ居ルカ先ニモ
 多議中、最モ硬派ニ屬スル本社重氣部職工
 大迫友一 二七四年 兎山 仁藏 二七四年
 若尾 柳節 二七四年 兎山 富太郎 二七四年
 河部 隆 二七四年 飯島 興太郎 二七四年
 西田 鎮達 二七四年 浜田 鉄太郎 二七四年

八名ハ令部役付職工ニテ是等ニ對シテ強業團加入
 ヲ強制シタルモ之ニ想セザリシヲ憤リ八重垣吉之丞
 外二名ニ暴行ヲ加ヘタル事實ヲ發見、暴行脅迫
 罪現行犯トシテ本日何レモ身柄ヲ折轉檢事